

グローバル制御社会のメディア分析のための新たな理論構築

Towards the Construction of New Media Theory for the Analysis of Global Control Society

水嶋 一憲 (MIZUSHIMA Kazunori)

A・ネグリとM・ハートが、グローバル化する現代世界を新たな視角から捉えるために呈示した〈帝国〉という概念は、今日もさまざまな学問分野に強い影響をあたえている。本研究は、ネグリとハートによる帝国論の新展開の重要性を一定評価しつつも、彼らの〈帝国〉研究におけるメディア理論の不備を批判する立場にたつ。その上で、かかる重大な欠点を補い、またひいてはグローバル制御社会としての〈帝国〉を十全に分析するために、グローバル化時代の新たなメディア理論を構築することを目的とする。そのような目的に到達するために2017～2019年度にかけて、以下の研究成果をあげた。それらの成果が示すように、本分野別研究課題は当初の目的を十分に達成することができたと総括することができる。

2017年度

【招待報告】 Kazunori Mizushima, “Into the <platformative situations>” (ハーヴァード大学主催の East Asian Media Studies Conference におけるトマス・ラマール教授の基調講演 “Platformativity: Media Studies, Area Studies” に対して、招待討論者として読み上げた原稿、於 アメリカ・ハーヴァード大学、2017年5月6-7日)、【国際会議の組織運営】公開シンポジウム「ポストメディア時代の芸術文化と理論」(於 東京藝術大学、2017年7月25日)と、“International Conference: TOWARDS POST-MEDIA STUDIES IN ASIA” (於 東京藝術大学、2018年1月27-28日)を主催者の一員として組織運営、【翻訳(共訳)】N・スルニチュク+A・ウィリアムズ「加速派政治宣言」、水嶋一憲 (翻訳責任者)・渡邊雄介訳、水嶋一憲、訳者解題、『現代思想』、46巻1号、青土社、176-186頁、2017年。

2018年度

【招待講演】水嶋一憲、「機械状資本論からみたメディア・インフラストラクチャー」、インフラリテラシー・プロジェクト(科研費基盤B)の初年度末セミナー、東京大学、2019年3月。【学会発表】Kazunori Mizushima, “Towards the Politics of Transindividuation in a Post-Media Era” (国際学会 Association for Cultural Studies の第12回大会 Crossroads in Cultural Studies 2018 での報告)、中国・上海大学、2018年8月。【連載論文(単著)】水嶋一憲、「機械状資本論ノート：メディア・技術・資本主義 第1回〈悪のメディア機械〉」(全6回の連載を予定)、『5 *Designing Media Ecology*』、第9号、『5』編集室・発行、84-92頁、2018年。【雑誌論文】水嶋一憲、「コミュニケーション資本主義と加速主義を超えて：横断個性性の政治のために」、『現代思想』、青土社、171-182頁、2019年。【ウェブ記事】水嶋一憲、「中国の「爆速成長」に憧れる〈中華未来主義〉という奇怪な思想」、『現代ビジネス』、講談社、2019年3月。【図書】北野圭介編著、アレクサンダー・ザルテン、水嶋一憲他共著、『マテリアル・セオリーズ：新たなる唯物論にむけて』うち3章「メディア・テクノロジーと

権力：ギャロウェイ『プロトコル』をめぐって」北野圭介、伊藤守、大山真司、清水知子、水嶋一憲、毛利嘉孝、北村順生 73 頁～106 頁、2018 年。

2019 年度

[雑誌論文] 計 1 件 (うち査読論文 0 件)

1【論文(単著)】水嶋一憲、「転形期の未来：新反動主義かアシッド共産主義か」現代思想 青土社 47/8, 54-66. 査読無し [学会発表] 計 4 件 (うち招待講演 2 件/うち国際学会 3 件)

1【国際学会での報告】(基調講演) Kazunori Mizushima, “On Post-Media Futurability”, POST-MEDIA ECOLOGIES in Asia 2019/07/14 2【国際学会での報告】Kazunori Mizushima, “Beyond Sinofuturism and AI capitalism”, 2019 IACS Conference 2019/08/02 3【国際学会での報告】シンポジウム・ワークショップ パネル (指名) Kazunori Mizushima, “Do users dream of commoners?: As a response to ‘how to become aware of the existence of media platforms’”, Platform Cooperativism Symposium with Trebor Scholz 2019/09/22 4【国内学会での報告】(招待講演) 水嶋一憲、「ポスト・メディア時代の未来」、日本マス・コミュニケーション学会・第 37 期第 3 回研究会(理論研究部会企画)2020/02

[図書] 計 1 件 1【著書(共著)】伊藤守編著、『コミュニケーション資本主義とコモン』、東京大学出版会。担当箇所は、水嶋一憲、「コミュニケーション資本主義における個人と集団の変容」、35-60、2019/09/19。